

石鎚神社・石鎚本教年中行事

1月1日	元旦祭（歳旦祭）
15日	長寿者祝賀祈願祭・成人祭
2月1日	年賀厄除祈願祭
3日	節分祭・星祭・古神札神納浄火祭
4月5日	石鎚神社春季例大祭
6日	祖霊殿春季例大祭並びに合祀祭
6月30日	夏季大祭御神像本社出御祭
7月1日	夏季大祭（石鎚山お山開き大祭）
～10日	
11日	夏季大祭御神像本社還宮祭
8月3日	石鎚青少年錬成会
～7日	
10月5日	石鎚本教秋季例大祭
6日	祖霊殿秋季例大祭並びに合祀祭
23日	土小屋遙拝殿大祭（もみじ祭り）
下旬	石鎚山三十六王子社巡拝（4日間）
10月日曜・祭日	成就社もみじ祭り
～11月3日	
12月1日	新穀感謝祭（新嘗祭）
冬至	星祭祈願始祭
31日	大祓式・除夜祭（年越祭）

◎毎月1日・15日・・・月次祭

正月、5月、9月の1日の月次祭には、特殊神事の御神像拝戴が斎行されます。

◎毎月15日・・・祖霊殿命日祭

以上の祭典にはどなたでも参列できます。お誘い合わせてご参拝下さい。

住 所

■石鎚神社・石鎚本教（本社）

〒793-8555 西条市西田甲 797

社 務 所 0897-55-4044

F A X 0897-55-7242

神社会館 0897-55-4168

■石鎚神社（成就社）

〒799-1112 周桑郡小松町大字石鎚字上黒河 422

社 務 所 0897-59-0106

F A X 0897-59-0408

■石鎚神社（土小屋遙拝殿）

〒791-1700 上浮穴郡面河村

石鎚スカイライン土小屋

社 務 所 0898-64-0200（4月～11月迄）

■石鎚神社・頂上社

四国・愛媛
霊峰・石鎚山

総本宮
石鎚神社

御神像拝戴神事及び御神徳について

御祭神は石鎚毘古神御一神ですが御神徳を表すため三体の御神像をお祀り申し上げます。

玉持(たまもち)の御神像

(和魂、にぎみたま) 仁の御神徳を表します。家内安全、病氣平癒を守ります。

鏡持(かがみもち)の御神像

(奇魂、くしみたま) 智の御神徳を表します。農業、工業、商業、漁業、各事業の繁栄、学業の成就を守ります。

剣持(つるぎもち)の御神像

(荒魂、あらみたま) 勇の御神徳を表します。勇気、忍耐をすすめ、悪事を除き、危機を守り、厄除開運、諸災消除、交通安全を守ります。

御神像拝戴とは

全国八万社の中でも、当石鎚神社のみ行われる特殊神事です。上記の三体の御神像を直接体にあて、神人一体の中に御神徳をいただく神事です。

10名以上で先達のおられる団体ならどなたでも受けられます。

初穂料は、50名まで30,000円。50名以上1名300円となります。

御祈禱(神様に願い事を祈る神事)

本社(年間を通して)・成就社(年間を通して)・土小屋遥拝殿(4月～11月)にて受付をおこなっており、家内安全・商業繁栄・厄除開運をはじめ、諸願成就の御祈禱をご奉仕いたしております。是非ご家族おそろいにてご参拝をお待ち申し上げます(初穂料、1件5,000円より)。尚、お受けになりました御神札は、神棚や高く清浄な所に南か東向きにお祀りいただき、朝夕にご拝礼下さい。

先達会符(せんだつえふ)について



男会符



婦人会符

先達とは崇敬者の中でも信仰が厚く、御山にも詳しく他の崇敬者を教え導く人を言います。この会符は山会符とも称し、守り札でもあり、先達の証しとしてどなたでも受けることができます。また会符には男会符・女会符とがあり、ともに男性、女性の子孫に受け継ぐことができます。現在約8万人の方が受けられ、会符には会符番号・住所・名前が記入され、当社台帳に永久に登録保存されます。

石鎚神社の由緒・沿革

当石鎚神社は日本七霊山の一つ霊峰石鎚山を神体山(神しずまります山)とするお社にて、山頂に奥宮・頂上社、中腹に中宮・成就社(ロープウェイ経由)と土小屋遥拝殿(スカイライン終点)、そして口ノ宮・本社と4社をあわせて石鎚神社(石鎚本教)と申します。

御祭神は石鎚毘古神(いしづちひこのかみ)をおまつりし、国土形成の神、五穀豊穰、海上安全、大漁の神、更には、家内安全、商工業繁栄、病氣平癒、厄除開運、学業成就、交通安全をはじめ諸願成就の神として信仰され、西日本を中心に、北は北海道より南は九州まで広く、また米国ハワイ州・ブラジルサンパウロ市にも遥拝所があり深く崇敬されています。

石鎚山は今から1300年の昔、役の小角(えんのおづぬ)と言う行者によって開山され、修験道の霊山、霊験あらたかなお山として今日までその崇敬はたえず、登山道中には全国にも珍しい鉄鎖がかかっています。また、かの弘法大師も修行されたお山であり、長く神仏混淆(しんぶつこんごう)の時代が続きましたが、明治初年純粹の石鎚神社となり、昭和21年には独立宗派、宗教法人「石鎚本教」をあわせ創立、現在に至っています。日本は自然に恵まれた豊かな国。故に神々の幸う国として大自然を神と仰ぎ、石鎚山もその代表として私達のいのちを生み、生かし、育てていただいております。

毎年7月1日より10日間は霊峰石鎚山のお山開き大祭にあたり、特に靈気あふれるお山となります。

是非ご登拝になられ、一切を浄化し、心から祈りをささげ、神の御加護をいただかれんことを祈ります。

御祭神

石鎚神社は石鎚毘古神(いしづちひこのかみ)をお祀り申し上げます。

石土毘古命(いわつちひこのみこと)もしくは、石鎚大神(いしづちおおかみ)とも申し上げ、伊邪那岐命(いざなぎのみこと)伊邪那美命(いざなみのみこと)の第2番目の御子にあたり天照皇大神の兄神になります。



■石鎚神社 奥宮 頂上社

石鎚山 山頂・弥山に鎮座し、石鎚大神の御降臨磐境。



■石鎚神社 中宮 成就社

石鎚山中腹 1,450mに鎮座。石鎚登山ロープウェイ下車徒歩20分。

役行者が石鎚山開山の時、請願をなし、成就したことにより名付けられた。諸願成就の宮である。



■石鎚神社 口ノ宮 本社

西条市西田甲797に鎮座。

J R 西条駅より車で10分。

平素の祭典・事務の本部となる。

■石鎚神社会館

神社会館においては各種研修会、結婚披露宴、また10名以上の参拝者の宿泊も受け付けています。

夏山登拝、四国八十八ヶ所巡拝等のご休憩・宿泊にご利用下さい。



■石鎚山天狗嶽

西日本最高峰、標高1,982m。(山頂、弥山より望む。)



■石鎚山の鉄鎖

石鎚山には三ヶ所の鎖の行場があり、一の鎖33m、二の鎖65m、三の鎖68m。三の鎖を登り終えると山頂、弥山となる。



■石鎚神社 中宮 土小屋遥拝殿

石鎚スカイライン終点土小屋、1,500mに鎮座。

昭和46年創立し、御神像を遷座奉斎。

石鎚神社ご案内図



登山案内

■本社へは

西条、小松 I・C より車で15分。J R 西条駅より車で10分。赤い大鳥居が本社入口。

■石鎚山～石鎚神社頂上社へは

●表参道成就社経由 西条 I・C、小松 I・C より車にて約1時間でロープウェイ到着。約8分乗車し、徒歩20分で成就社到着。同社より徒歩約2時間30分(3,6キロ)で頂上社到着。

●裏参道土小屋遥拝殿経由

松山 I・C より車で国道33号線を高知方面に(御三戸より面河へ)約2時間。石鎚スカイライン(無料)に乗り約40分で土小屋遥拝殿に到着。同社より徒歩2時間30分(4,6キロ)で頂上社到着。